

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2428回 例会

平成23年12月16日(金)

天候 晴れ

合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25

中川方 TEL/FAX 0465(62)3056

例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

本日の例会で前半期が終わります。今年度は前年度と同じく7月にガバナー公式訪問がありました。まだ手探りの状態である会長、幹事をはじめとする執行部に対しロータリーの寛容の精神と友情でご協力頂いた事に対し厚く御礼申し上げます。9月には社会奉仕活動の一環である山もみじの除草刈も事故も無く終わりました。今年度も会員増強が最大の課題であります。9月に若くて実行力のある石田会員が入会されこれからが大変楽しみであります。残念なことは10月1日に飛田会員が亡くなられたことです。会員の皆様方健康には十分注意して下さい。新年に入りますと4月15日の創立50周年記念に向けて高杉実行委員長の下素晴らしい記念式典にしたいと思っておりますので大変お忙しい中会員皆様方のご協力をお願い致します。ロータリークラブの活動は親睦から始まると言われます。来週の金曜日は祝日のため休会ですが深澤旅館さんで忘年会を開きますので万障繰り合わせて参加して頂ければと願っています。以上で会長挨拶を終わりと致します。

幹事報告

ガバナー

1. ロータリー財団寄付金につきまして、本年4月以降の寄付金につき税制上の優遇処置が適用されます。
2. 2014~15年度ガバナーノミニー確定宣言
渡辺治夫(わたなべ はるお)
1947/1/17 生まれ 横須賀RC 1897/10 入会
石油小売販売

連絡事項

12/23 祝日休会

*ケーキのプレゼント 1時

*忘年会 6時 深澤旅館

12/30 特別休会

スマイルBOX

渡辺久泰君 結婚記念日 12/20

米山功労者感謝状

浅田真隆君、平間章弘君、府川清君、
伊藤伸之君、稲葉隆君、石川雅雄君、
小松雄成君、西山敦君、佐東丈介君、
佐藤泰文君、杉山茂久君、常盤章夫君

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名

会員 26名 欠席 5(0)名 出席率 84.00%

前回の修正出席率 92.00% 前々回の修正出席率 96.00%

1

西山 敦君

H23年も残すところ15日余りとなり、新年を迎える準備も始めなければならない時期となりました。

今日は暮から正月を迎えるための行事や神祀りのことについてお話しします。

すす払い・・・12月13日

昔江戸城では12月13日に大掃除をしたので、それを見習って町の人たちも、13日に大掃除をするようになった。そして、この日を正月を迎える準備を始める「事始め」の日とした。

神棚の清掃・準備

正月を迎えるに当り、神棚をきれいに清め、古い御札（おふだ）と新しい御札を取替える。古い御札は神社へ持参しお祓いしお焚き上げて頂く。

注連縄（しめなわ）七五三縄とも書く

注連縄の張ってある内側は神聖な場所を表す。ごぼう締めは、太いほうを右側にする。

シメを4枚つける。

一般に神前に使う縄等は左ないにする。（左ないの見方は藁をよった溝が横にしたZの縦線と同方向になっている。）

シメ（四手）の切り方

半紙を半分に折り横を四等分して交互に2/3切込みを入れる。

手前手前に折ってゆく。

人像（ひとがた）

神札頒布の時に一緒に配布される人像の白に家族の男子の名前と年齢（今年の）、赤に女子の名前と年齢を書き息を3回吹きかけ身体を左肩から右下、右肩から左下、左肩から右下と3回なでて、袋へ入れ神社へ差し出すと、その年に犯した罪・穢れを清々しくお祓いして新年を迎える事ができます。

大祓いと茅の輪くぐり（6月と12月）

神社の鳥居に取り付けられている茅の輪（五所神社の場合）の前に正面に向かい左、右、左と鳥居を中心に8の字を書くように廻り正面から神前に進み参拝する。茅の輪をくぐる事によりそれまでに犯した罪穢れを祓い清めます。その年に気になる事、お祓いしたい事がある人は是非茅の輪くぐりをして祓い清めて下さい。神社の大祓いの式は12月31日午後3時より行います。そのときに式のなかで茅の輪くぐりを行います。どなたでも参加できます。

ここでいう罪けがれとは

○罪・・・犯罪の罪ではなく人間本来のすばらしい姿を包みかくしてしまうもの＝包む身

○けがれ・・・神様からいただいた気が枯れた状態＝気枯れ

大晦日（除夜の鐘）

除夜の鐘は人間の百八つのよくを除いてくれる音といわれている。

正月の鏡餅

餅には稲の霊が宿り餅をたべる者には力を与えられるといわれている。

また古代においては鏡は神様の宿るところであり、神様そのものと考えられていた。このようなことから鏡餅という名称がつけられた。

橙（だいだい）

鏡餅に橙を飾るのは「代々、家がつづくように」という意味を含んだ語呂あわせと、橙は一度実がなると七年間は再生復活を繰り返すことから「一族の繁栄を願って飾ります。」

譲葉

譲葉は、新しい葉が成長した後で古い葉が落ちる事から、世代交代を繰り返しながら子孫が続くことにたとえられ「親子草」とも言われている

参拝の作法

まず手水で手口を清める。①左手を清める。②右手を清める。③左手に水を受け口をすすぐ。柄杓を立てて柄を清める。

感謝・奉告は形にとらわれず真心で参拝する。ニ拝二拍手一拝で

国旗の事

国旗としての「日の丸」は安政元年(1854年)7月11日に徳川幕府が外国船と見分けるために、日本の大船に日の丸をかかげることをきめたのがはじまり。 つづいて明治3年(1870)1月27日に明治政府のきまりとして、日本の全ての船は御国旗（みくにはた）をかかげることとなり、その後次第に祝い喜びのときに日の丸を掲げることが日本全体にひろがっていった。御国旗の布告から129年経った、平成11年8月13日。政府は法律117号で国旗国歌法を公布した。この法律で次の3点の表し方が変わった。①国旗デザインの総称が日の丸から日章となった。②中央の円形の色彩が赤から紅となった。③これまでの国旗の形式は一般的にはタテとヨコの比率が7対10と説明してきたが、これを縦は横の2/3とした。